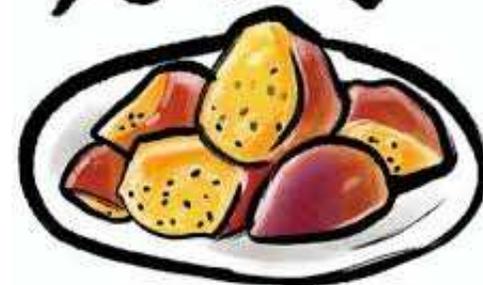




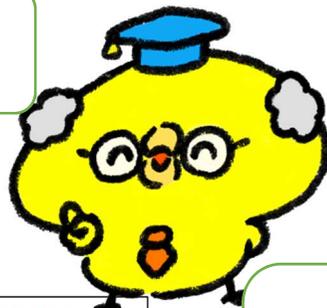
かりっと、ほくほく、香ばしい  
 だいがくせい つく た  
 大学生が作った？食べていた？

# 大学芋



だいがくいも う  
 大学芋が生まれたきっかけは  
 いろいろな説がある！？

せつめい  
 説明しよう！！



(1) 東京の神田で生まれた説 (大正時代): 東京の神田に住んでいた大学生が、  
 好んで食べていたため「大学芋」と呼ばれた。

(2) 東京大学生が食べていた説 (大正初期): 東京大学・赤門前にある「三河屋」  
 というお店で売られて、東大生に好評だったため「大学芋」と呼ばれた。

(3) 東大生が販売していた説 (昭和初期): 東京大学の学生が、学費をかせぐ  
 ために中国から伝わったさつまいもの飴煮を売っていた事より「大学芋」と呼ば  
 れた。

(4) 早稲田大学生が食べていた説 (大正初期): 早稲田大学の近くにあった  
 芋屋さんが早稲田大学の学生から好まれていたため「大学芋」と呼ばれた。

(5) 都市伝説: こどもを大学に入れるのと同じ位料理の方法が難しく、手間  
 がかかるため「大学芋」と呼ばれた。

だいがくいも  
 大学芋は  
 こんな感じ



中国には、  
 「拔絲地瓜」と  
 いう料理があり  
 ます。

カリカリの飴でコーティングされた芋

